

学校の教育目標	・思いやりをもち、協力し合い豊かな心をつちかおう。 ・進んで学習に励み、がんばりぬぐ力を身につけよう。 ・正しく、厳しく、美しく、生涯の基を築きます。
特別活動の目標	集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。
目指す生徒像	・思いやりと協調性を大切にし、豊かな人間関係を築ける生徒 ・自ら学び、考え、判断し、主体的に行動できる生徒 ・心身共にたくましく、困難を乗り越え未来を切り拓く生徒
特別活動の重点目標	様々な集団活動や体験的な活動を通して、豊かな学校生活を築くとともに、公共の精神を養い、社会性の育成を図るという特別活動の特質を踏まえ、よりよい人間関係を築き、社会に参画する態度や自治的能力を育成する。

	学級活動	生徒会活動	学校行事	
目標	学級や学校での生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践したり、学級での話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して、実践したりすることに自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	異年齢の生徒同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	全校又は学年の生徒で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	
指導の方針	(1) 学級内や学校内における課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成が図られるように支援する。 (2) 自他の個性を尊重し、互いのよさや可能性を発揮しながら、よりよい集団生活をつくるよう促していく。 (3) 社会の一員としての自覚や責任をもち、社会生活を営む上で必要なマナーやルールを守ろうとする態度を育成する。	(1) 生徒会が主体的に組織をつくり、学校生活の課題を見だし解決するための合意形成が図られるよう支援する。 (2) 学校行事が生徒会組織によって主体的に計画・運営されるよう支援する。 (3) 地域や社会の課題を見だし、具体的な対策を考え、地域や社会をよりよくする活動への参画を促す。	(1) 学校生活の秩序を守り、起立ある集団行動を行おうとする態度を育成する。 (2) 平素の学習成果を発表し、文化や芸術、運動に親しむ態度を育成する。 (3) 自然体験や社会体験などの体験活動を実施し、体験活動のまとめ、発表等の事後学習活動も充実させる。	
主な指導内容	(1) 学級や学校における生活づくりへの参画 ①学級の課題把握、解決のための合意形成 ②学級内の組織づくりや仕事分担 ③委員会、部活動など多様な集団の生活の向上 (2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 ①自他の尊重、互いのよさの認め合い ②男女相互理解、男女共習の充実 ③心や体に関する正しい理解、悩みや不安への向き合い方 ④規律ある生活習慣の取得、心身の健康保持増進 ⑤成長と健康管理、望ましい食習慣 (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現 ①学ぶことと働くことの意義 ②社会の一員としての自覚、責任、社会生活に必要な態度 ③自己の興味、適性の理解	(1) 生徒会の組織づくり、活動計画、運営 生徒総会、生徒会役員選挙、生徒会誌の発行、各種委員会活動の充実 (2) 学校行事への協力 運動会、合唱コンクール、学習作品展等の運営への参加 (3) ボランティア活動などの社会参画 地域美化活動、リサイクル、地域の祭礼行事等への参加	(1) 入学式、卒業式、始業式、終業式、修了式、着任式、離任式、安全指導、交通安全指導、避難訓練、引き渡し訓練、健康診断 (2) 合唱コンクール、学習作品展、音楽鑑賞教室、連合学芸発表会(特別支援学級)、運動会、スポーツ大会、都陸上大会(特別支援学級)、都バスケットボール大会(特別支援学級) (3) 修学旅行、移動教室、連合宿泊学習(支援学級)、社会見学	
他の教育活動との関連	各教科・読書科	学級活動における話し合いなどの言語活動が、国語科や読書科身に付けた言語表現が実践される機会となるよう図る。	生徒会活動や地域活動に参加することで、集団生活における諸問題を把握し、改善策を見だし実践するとともに、社会科公民分野で学習する民主主義制度への理解が深まるように図る。	合唱コンクールについては、音楽科の学習との相互関連を積極的に図る。また、運動会については、保健体育科の学習成果を発表する場であるという視点を明確に位置付け、異年齢集団との交流を重視する。
	特別の教科 道徳	内容項目の「主として集団や社会との関わりに関すること」で身に付ける、公平性や道徳精神、勤労観や社会参画への意欲が高まるように図る。	生徒会活動への参加を通して、社会参画への意識や公共の精神を身につけられるように図る。	運動会や合唱コンクールを通して、学級や学校の集団の中での自分の役割と責任を自覚し、自己肯定感を高め集団生活の充実へと努めること。
家庭的な学習の確保	学級活動で育成する集団や社会の中でよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度と、総合的な学習の時間で育成する問題を解決する資質や能力を相互に役立たせるように、指導内容の一体化を図っていく。	生徒会による諸活動の実践を通して、自分とのかかわりを視点とした問題発見能力、課題解決能力などを育成するとともに、これらを総合的な学習の時間の諸活動に役立てるようにする。	宿泊行事や校外学習との関連を重視し、事前学習や事後学習を充実させるとともに、まとめた内容を人前で発表する機会を設ける。	
家庭や地域との連携	生徒は、学級や学校の一員として学校生活を送るとともに、家庭や地域の一員として生活している。学級活動の指導においては、家庭や地域の人々との連携・協力が重要な意味をもっていることから、学級や学校内の情報を発信していくとともに、社会教育施設等の活用などを工夫する。進路学習の指導においては、関係機関等の専門家などから話を聞くなどの活動を積極的に取り入れていく。	必要に応じて、校内の活動だけでなく、他校との相互交流を図ったり、地域社会との連携を深めたりするなど、校外での活動への広がりを図る。また、ボランティア活動や地域の自然や文化・伝統を生かした教育活動を実践していく。	家庭や地域の人々との連携を深め、職業調べや職業体験などにその教育力の活用を図ったり教育施設等を活用したりする。また、避難訓練や引き渡し訓練などを通して、学校と保護者、地域の人々が連携して生徒の安全意識や問題解決能力を育成する。	
備考				